

人間は 不安の器うつわである

人間は誰だれしも病を不安に思い、死を恐怖きょうふします。病や死を恐おそれるのは、人間がよりよく生きたいと考えているからにほかなりません。不安や恐怖を「あつてはならないもの」として、これを排除はいじょしようと努めれば努めるほど、人間は抑鬱よくうつと煩悶はんもんにおとしめられます。その典型しんけいが神経症しんけいしじょうです。

冒頭ぼうとうの言葉は、日本の精神医学の草創期くわくわくに活躍かつやくした医師・高良武久こうらたけひさの言葉です。高良の師・森田正馬もりたまさだけは「不安常住」こそが人生の真実だともいっています。